

第77回 相模湖地区まちづくり会議 全体会 結果

- 日 時 令和4年4月21日(木)・19時開会
- 場 所 相模湖総合事務所 3階 大会議室
- 出席委員数 23名出席(5名欠席)
- 傍聴者 0名

1 開会

2 代表あいさつ(長谷川代表)

○長谷川代表からあいさつの後、代表の司会により進行した。

3 協議事項等

(1) 中山間地域の持続可能な医療のあり方の検討について

○医療政策課から「中山間地域の持続可能な医療のあり方の検討について」説明があった。

《主な意見・質問》(◇主な意見・質問等、◆回答等)

◇災害時に孤立した時などの対応も検討の中に加えてほしい。例えば、透析の機械を車に積んで持ってきてもらうなど。

◆今後、地域の皆さんのニーズに合ったものを検討していく。

(2) 令和4年度 地域活性化事業交付金

○新規事業2件について、申請団体の代表者から事業の目的、内容等について説明を受けたのち、委員間で協議した。

	交付年数	事業名	交付団体名
1	1	『小原の奴』継承人材育成事業	甲州街道小原宿本陣奴会

*各委員からの主な意見・質問(◇主な意見・質問等、◆回答等)

◇槍はいくつ買うのか。

◆初年度は3本。交付金の3年間で10本を揃えたい。

◇対象は何年生で、どのように中学校と連携していくのか。

◆7月1日に小原本陣の校外学習で行う予定。1年生か2年生を対象にする予定です。

◇安全性は確保されているのか。

◆大人用の3.8mの槍は扱いが難しいため、子供用の2mの槍を用意する。ボランティア保険で対物・対人にも加入する。

◇中学校での授業後、奴会へ参加してもらうようなことは可能なのか。

◆小原の集会所で行っている月1回の練習や会員間の朝練等に参加してもらうことを考えている。

◇授業に関しては1回のみか。

◆継続の事業として考えており、北相中学校の校長先生には年1回といわず機会

が合れば実施したい旨を伝えている。

◇交付金がなくなった後、活動をどのように継続するのか。

◆会費を徴収するなどして、自費で活動を継続していく。

<委員間で協議した結果>

*申請内容等について、反対意見は無かった。

	交付年数	事業名	交付団体名
2	1	わくわく・さがみこ創り	相模湖地域連絡会

*各委員からの主な意見・質問（◇主な意見・質問等、◆回答等）

◇移住・定住への具体案はあるのか。

◆相模湖がどのような魅力のある土地であるかというポスターを市街に掲出して、PRしていく。興味を持ってくれた人に里まっちと連携して空き家や空いている土地を紹介していきたい。

◇桜道構想の金額では植えるところまでは行きつかないように思える。地主さんとの交渉はどのようにするのか。以前、同様の事業があったが植えたら植えっぱなしになっているものがある。桜を植えた後、誰が管理するのか。

◆メンバー内の林業の従事者に確認したら確かに難しいが、地権者やNEXCOに許可を取るところから始めている。管理については会の中に若いメンバーを積極的に取り込み世代交代を行うことで管理していく。

◇何本桜の木を植えるのか

◆20本は植えたいと考えているが、すぐに咲くような大きさの一本 15,000 円位の苗を植えていきたいと考えている。

<委員間で協議した結果>

*申請内容等について、反対意見は無かった。

(3) 第7期 相模湖地区まちづくり会議の体制について

○事務局から第7期の委員の定数、選出団体について説明を行った。

*各委員からの主な意見・質問（◇主な意見・質問等、◆回答等）

◇選出されなくなった団体をどのような理由で決めたのか聞きたい。

◆第7期も2部会体制で実施していく前提で、各部会で何に重点を置いて、具体的に実施していくかを視野に入れて選出団体を役員会で検討したところ、このような団体構成となった。

保健・福祉関連団体は地域ケア会議がほぼ同様のメンバーで構成されており、連携する形でまちづくり会議に2~3団体が出てもらって地域ケア会議で出た話を上げてもらえばいいということになった。

(4) 第7期会議の開催日程及びまちづくりを考える懇談会の開催日程（案）

○第7期の会議の開催について説明を行った。

(5) 専門部会からの報告について

○各専門部会長から各専門部会の取組状況について説明があった。

・産業・観光専門部会の中里部会長から大明神展望台登山道の整備及び案内看板の設置について説明があった。

- ・子ども・若もの専門部会の河津部会長から相模湖地区小・中学校の望ましい学習環境のあり方意見交換会に係るアンケート調査の結果について説明があった。

4 その他

特になし

5 閉会

○中里副代表による閉会

以 上